

令和4年度 第3回 浜松市中央卸売市場開設運営協議会
会 議 録

- 1 開催日時 令和5年3月28日(火)
午前10時30分から午前11時30分
- 2 開催場所 中央卸売市場 大会議室
- 3 出席状況 鈴木 浩孝、松井 英司、川村 雅美、影山 太翼、
(敬称略) 中尾 穰、渥美 敏、原田 篤郎、加藤 弥生
(出席委員8名/10名)

事務局	農林水産担当部長	清水 克
	中央卸売市場長	高柳 光男
	中央卸売市場長補佐	水谷 寿樹
	管理グループ長	浅井 祐城
	業務グループ長	宮崎 泰充
	施設整備グループ長	塚田 貴史

- 4 傍聴者 なし

5 議事内容

- (1) 視察研修の実施結果について
(2) 中央卸売市場再整備基本計画策定等の進捗状況について
(3) その他

- 6 会議録作成者 塚田 貴史

- 7 記録の方法 会議録：発言者の要点記録（録音の有無：有）

8 会議記録

- | |
|---|
| 1 開会 |
| 2 開設者のあいさつ 清水農林水産担当部長 |
| 3 議題
(1) 視察研修の実施結果について
(事務局)
・隔年で実施している視察研修について、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により延期していたが、感染状況が落ち着き先方の了解が得られ、令和4 |

年 11 月 15 日に京都市中央卸売市場第一市場に、開設運営協議会委員 4 名、職員 3 名の計 7 名で訪問した。

- ・京都市中央卸売市場第一市場側は、次長以下職員 6 名にて対応され、供用された新水産棟のほか、新青果棟の整備に向けた周辺工事の状況や事前質問項目に沿った説明をいただいた。
- ・視察内容の詳細は、令和 4 年 12 月の各委員宛書面での事前質問項目、先方の回答要旨、視察当日の資料及び写真を送付したとおりで、所期の目的を達成できた。
- ・京都市中央卸売市場はその後、本年 3 月 19 日に新水産棟が竣工し、4 月 1 日には一般来場者が卸売場の見学や市場の歴史等を視覚的に理解できる施設もオープンするとのことである。

(鈴木会長)

- ・参加された 4 名の委員から視察を通じた所感を願います。

(松井委員)

- ・視察した第一市場の市場規模ではコンパクトに整備され、市場を中心とした各棟が構成される等浜松市場再整備において参考となった。

(川村委員)

- ・京都市中央卸売市場の敷地形状と浜松市場とは相違しているため、参考とされない点はあるが、市場関係者の意見を十分に聞く配慮が図られていた。
- ・トラックバスの利用時間を区分けする枠組みや使用料増額に関して経営体質が厳しい複数の市場関係者への合併等指導を開設者が実施していた。
- ・浜松市場でも、経営体質が厳しい市場関係者が複数生じていると聞いているため、今後その対応が必要になるものと考えます。
- ・施設面に関しては、活魚用の駐車バス横に活魚用水槽が設置されていた点や買参人等が荷物を積み込む駐車スペースを 3 階の高層階に設けられていた。その生鮮食料品等の上下移動は、垂直エレベーターが設置され、狭小敷地への対応が図られる等、浜松市場再整備における参考となった。
- ・余剰地活用に関しては、市場隣接地に飲食・宿泊施設を配置し、市場と直接的な移動が可能となる等余剰地活用の事例として参考になった。
- ・今後は、PFI 事業にて整備済又は整備中の他市場を視察すべきと考える。その視察においては、各事業者から複数名の実務担当者による構成で視察し、再整備イメージの確認、反映が必要と考える。

(影山委員)

- ・視察により、閉鎖型施設やコールドチェーン等の卸・仲卸事業者の課題内容等を実感できたことが成果のひとつである。
- ・京都市場の関連事業者と直接意見交換でき、再整備に伴う事業者の廃業割合、要因等のリアルな内容を確認できた。
- ・視察による知見等を関連事業協同組合内へ報告した結果、浜松市場再整備に

伴う事業存廃、課題等の踏み込んだ話し合いが出来た。

(原田委員)

- ・生産者側の立場で参加した中、仲卸事業者の多さに驚きを感じた。衛生面としては、温度管理が徹底されていた。屋上配置の駐車場利用に際しては、市職員、市場関係者含め有料化の措置がなされていた。仲卸事業者では、取引先に対し時間帯での駐車利用の措置が図られていた。
- ・施設面積について、今後の取扱量等を考慮して減少させて再整備コストの低減が図られていた。

(鈴木会長)

- ・本日の参加委員所感等により、再整備に対する認識が深まった。
(他の委員からの意見はなく、次の議題に進んだ。)

(2) 中央卸売市場再整備基本計画策定等の進捗状況について

- ・令和4年12月に、本基本計画策定業務の支援事業者として、「株式会社 地域計画建築研究所名古屋事務所（通称アルパック）」が決定し、自己紹介及び資料1の「浜松市中央卸売市場再整備基本計画策定支援業務及びPFI手法等導入可能性調査業務」の説明となった。

(アルパック)

- ・資料1のうち、「2 業務実施方針」から抜粋して説明する。
- ・将来ビジョンとして「安全・安心な生鮮食料品の安定供給と流通のプラットフォームを担う拠点市場」に関し、基本計画で検討すべき内容の①施設規模の適正化が図られた施設づくりとして、「市場使用料とのバランスを考慮した施設規模の設定」、「官民の整備区分」、「従来型の施設構成見直し」、「稼働しながらの建替え（ローリングパターン）の実現性・工期、事業推進上の課題」、②商品の鮮度を維持し衛生管理が可能な施設づくりでは、「コールドチェーンとしての閉鎖型卸売市場の必要性」、「定温（低温）管理が必要な施設規模」、③本市場の立地環境を活かした施設づくりでは、首都圏と関西圏の中間地点としての「遠距離物流や市場間転送としての物流拠点」、④安全・安心で働きやすい施設づくりとしては、「場内事業者が働きやすい環境となる施設や機能」、⑤民間活力による余剰地活用と市場の活性化としては、「卸売市場と余剰地との連携・共存イメージの確保」、「将来展開用地の必要性」、「市場の活性化として余剰地活用のあり方」、⑥「地域まちづくりと地球環境への影響に配慮した市場設備の導入を目指す」、⑦の社会環境に適応した市場機能の変革としては、「持続的経営に向けた合併、経営統合等の起業再編」の検討を行っていく。
- ・取組方法の「各種調査」では、浜松市場の現状、交通量、他市場事例の調査、「分析・検討」では、市場使用料を踏まえた市場規模からの現在からの市場使用料の増減割合等を提示する。

- ・市場関係者の意向把握のアンケートとして、卸・仲卸事業者の将来取扱目標、関連事業者の事業展望等アンケートの意向把握を行う。
- ・市の財政健全化としての収支シミュレーションとして、事業期間における総収支及び単年度毎の繰入必要額等についてシミュレーションを行う。
- ・「合意形成」では、「再整備基本計画策定委員会」で将来ビジョンを踏まえた、市場等の活性化や災害対応、環境への負荷低減、財政支出の抑制等新しい形を検討する。「あり方研究会／部門別ワーキング部会」では、持続的経営のために市場施設に求められる条件等について市場関係者の皆さまと意見交換を行い施設計画に反映させる。個別ヒアリングは並行して実施する。
- ・「民間活力導入可能性検討」としては、市場再整備と余剰地活用における民間活力の導入可能性や参画意向、事業スキーム、事業推進上の課題、余剰地活用事業への参画意向、活用用途等を検討する。
- ・4「業務スケジュール」に示すように、令和6年1月迄に「基本計画案」を取りまとめる。現在までの各種調査、令和4年12月末から令和5年1月にかけて市場関係者への今後の取扱数量のアンケートを実施し、それを基に卸・仲卸事業者との個別ヒアリングを行った。令和5年4月から、部門別ワーキングを各テーマに沿って5回実施し、その意見を「基本計画策定委員会」、「開設運営協議会」、「あり方研究会」で審議確認する形態である。
- ・PFI導入可能性調査では、余剰地活用だけでなく市場再整備に対しても、民間事業者とのヒアリングを1次、2次と実施する。1次ヒアリングでは、事業参画の興味等幅広く聴取し、2次ヒアリングで施設計画案、土地利用の状況、余剰地形態を踏まえ、1次ヒアリングで回答を得た事業者に対し実施する。
- ・関連事業者に対する個別ヒアリングは実施していないが、時期を踏まえ実施するのでご協力いただきたい。
- ・卸・仲卸事業者との個別ヒアリング結果における主な意見は、別紙A4資料で整理した内容である。「施設規模」は、セリ場や仲卸店舗の規模をコンパクト化することに異論はなかった。しかし、ピッキングや荷捌きスペースが不足している中で屋根のある荷捌スペースを求める意見が多かった。
- ・コールドチェーンについては、水産物では密閉型施設のイメージ、青果物では一部区画のみ温度管理が出来ればよいとの意見であった。
- ・施設整備の方法として、施設の外側のみ市が整備し、内部の整備や区割り等を市場事業者が自由に整備する方法に、多くの事業者が賛同されていたが、一部ではその設備投資費用を懸念する意見もあった。
- ・直荷引きでは、基本的に卸事業者を通じて取引している状況であったが、消費者ニーズにより、一部の仲卸では直荷引きが行われていた。
- ・共同配送では、一部実施している仲卸事業者からのコスト面での有利性意見も確認されたが、全体として共同配送の実施には課題が多い結果であった。
- ・デジタル技術の活用に対して、産地、量販店の利用実態で使用システムが相

違する現状での対応は難しい意見であった。

- ・市場使用料に対しては、現在の市場使用料が 2 倍程度となることは厳しいとの意見が多数であった。増加する使用料により使用面積の縮小も考えざるを得ないとの意見であった。このことから、市場使用料の低減を図るために、施設規模をコンパクト化すべきとの意見があった。
- ・余剰地活用として一般向け店舗への参画について、一部事業者で出店意欲の意見があったが、近隣店舗との関係性や苦情から、現状の市場まつりや一般開放等のような関わり方が良いとの意見が多かった。
- ・人材確保、職場環境について、各事業者とも人材確保は厳しい状況であり、改善意見として清潔な職場づくり、勤務シフトの工夫等があった。
- ・今回の個別ヒアリング意見を踏まえ、4 月からの部門別ワーキングを実施する。

(鈴木会長)

- ・説明事項に対し、各委員からの質疑をお願いする。

(影山委員)

- ・事業計画書の説明で、関連事業者へのヒアリング等のスケジュールは、4 月以降とのことであったが、関連事業協同組合内の話し合いでは、各関連店舗の立ち位置として再整備以後の事業継続を考えるにあたり、現在と同様の市場内事業者への売買や仲卸事業者への流通協調とするのか、余剰地施設に関与する対応とするのかの考え方に分かれ、浜松市中央卸売市場再整備がどのような方向性を目指しているのか分からないと判断できないという意見であった。
- ・卸、仲卸事業者、本会会長等が現段階で持つ市場イメージをお聞きしたい。また、支援事業者が携わった他市場での成功事例など主流の方向性を教えていただきたい。

(支援事業者)

- ・関連事業者については、他市場でも様々である。関連事業者の対象者として一般市民に向けた事業展開とするかは、各関連事業者により相違する。余剰地への出店の場合もあれば、市場事業者内を意識した事業者もあり、今後も話し合いが必要と思われる。

(事務局)

- ・関連事業者としての懸念材料を持たれていることを認識している。
- ・再整備基本計画を策定する上で、話し合いを進めていくこととなるが、事例のひとつとして神戸市中央卸売市場では、関連事業者の配置場所として、場内事業者と場外の一般市民が購入することが可能な位置づけ・配置形態であった。業種によっては、仲卸店舗に近接する事例等や余剰地への市場機能の補完としての場合等様々な考え方がある。現時点では、余剰地活用策含めて、何も決定していない。今後、関連事業者の皆さんがどういう形態を考えられているのかを、ヒアリング等で聞かせていただく必要があると考える。

(影山委員)

- ・市場として望ましい方向性があるのではないかと考えている。
方向性のひとつとして、流通形態、ICT等の将来ビジョンが想定される過渡期における関連事業者の位置付けが課題となる。現時点の方向性を確認したい。

(事務局)

- ・現時点で影山委員からの意見内容について、何も決まっていない。
- ・視察した京都市中央卸売市場では、関連店舗は場外の一般市民からの利用ができる形態であったが、他市場での関連店舗設置位置含め、関連事業者の意見をお聴きしながら進めていく。

(鈴木会長)

- ・その他各委員からの意見が無ければ、事務局から(3)その他事項としての報告事項をお願いします。

(3) その他

(事務局)

- ・令和5年度人事異動について報告した。

(鈴木会長)

- ・事務局からの報告については、人事案件であるため聞き置く。
- ・中尾委員(静岡県農業戦略課長)から情報提供をお願いします。

(中尾委員)

- ・浜松市中央卸売市場再整備基本計画の策定に当たっては、川村委員から発言があったが、市場関係者や生産者側、消費者側との意見交換を重ね要望を確認し理解を得ながら策定されたいと個人的な所感を持つ。
- ・国からの市場関係動向の情報提供として、規制改革推進会議による規制緩和として、令和4年12月に農水省に対する措置が出された。その措置内容としては、多様な能力を持つ市場参加者が活躍できる環境づくりを目指すこととして、新規参入者の参入を阻害する既存事業者の同意取得等が生じることがないようにとのことで、実態調査が求められている。令和5年度中に実態調査結果を踏まえた必要な措置の指示がされる。
- ・直近の燃料コストの上昇などに対する、持続的な生産体制の構築として生鮮食料品等への適正な価格転嫁に関する提言が、販売、小売業界等になされた。
- ・県としても、適正な価格形成について検討していく中で、市場関係者の皆さまにもご意見を聞く場合もあるためご協力をお願いします。

(松井委員)

- ・中尾委員から情報提供等があった適正価格に関して、5月中旬開催の全国中央卸売市場協議会の総会において、決議等の要望が検討されている。
各委員からその他の意見はなかった。

4 閉会のあいさつ

9 会議録署名人 なし